

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

平成24年度から「公益法人会計基準」(内閣府公益認定委員会 平成20年4月11日、平成21年10月16日改正)を採用している。

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券：購入時の取得価額によっている。なお、取得価額と債券価額との差額について重要性が乏しいため償却原価法は採用していない。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
個別法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっている。
- (4) 引当金の計算基準
退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及び残高

基本財産及び特定資産の増減額及び残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
收藏品	167,782,000	0	0	167,782,000
投資有価証券	96,327,000	96,327,000	96,327,000	96,327,000
計	264,109,000	96,327,000	96,327,000	264,109,000
特定資産				
退職給付引当資産	1,228,000	317,000	0	1,545,000
減価償却引当資産	11,948,652	10,602,663	610,350	21,940,965
管理運営資産	148,948,000	79,081,103	78,948,000	149,081,103
受入保証金引当資産	61,212,000	61,212,000	61,212,000	61,212,000
能勢紫香かな振興基金	0	9,901,263	0	9,901,263
計	223,336,652	161,114,029	140,770,350	243,680,331
合計	487,445,652	257,441,029	237,097,350	507,789,331

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
收藏品	167,782,000	0	167,782,000	0
投資有価証券	96,327,000	0	96,327,000	0
計	264,109,000	0	264,109,000	0
特定資産				
退職給付引当資産	1,545,000	0	0	1,545,000
減価償却引当資産	21,940,965		21,940,965	0
管理運営資産	149,081,103	0	149,081,103	0
受入保証金引当資産	61,212,000		0	61,212,000
能勢紫香かな振興基金	9,901,263	9,901,263	0	0
計	243,680,331	9,901,263	171,022,068	62,757,000
合計	507,789,331	9,901,263	435,131,068	62,757,000

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
建物	786,958,628	59,021,901	727,936,727
什器備品	2,769,900	1,182,976	1,586,924
合計	789,728,528	60,204,877	729,523,651

5 引当金期首残高、当期増加額、当期減少額及び期末残高

引当金期首残高、当期増加額、当期減少額及び期末残高は次のとおりである。

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,228,000	317,000			1,545,000
計	1,228,000	317,000	0	0	1,545,000